

第3回 市民病院の今後のあり方に関する協議

議事要旨

日 時	平成31年4月15日（月） 午後2時45分～午後3時35分	
場 所	碧南市民病院 2階 講義室	
委員	<input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	■禰宜田市長 ■松井副市長 ■加藤委員 ■水野委員 ■長田委員 ■生田委員 ■奥村委員 ■鈴木並生委員 ■三島委員 ■名倉委員 ■山中委員 ■比嘉委員 □杉浦三代枝委員 ■禰宜田委員 ■神谷委員 ■永坂委員 ■神谷委員 □鈴木玲子委員 ■對馬委員 ■森田委員 市長・副市長含む出席者計18名
傍聴者	4人	
事務局	金沢総務部長 亀岡病院長 杉浦誠治副院長 杉浦厚司副院長 金澤副院長 古久根看護部長 永谷市民病院経営管理部長 生田経営企画課長 鈴木医事経営課長 伊藤管理課長 中川経営企画課長補佐 野村医事経営課企画推進係長 遠藤医事経営課企画推進係主査 事務局合計13名	
会議開催にあたって	事務局より、本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明。	
会 議 次 第	1 あいさつ（市長） 2 市民病院の今後のあり方に関する協議について	
次第1	（市長あいさつ） 西尾市から市民病院の今後のあり方に関する協議について新たな提案を含め回答があったので、碧南市から西尾市への回答についてご意見をいただきたい。	
次第2	参考資料により事務局より説明	
次第2について委員からの主な発言		
委員	しっかり検討して、西尾市との経営統合が上手く進むのであれば良い。	
委員	基本的には賛成だが、西尾市の赤字を碧南市が引き受けることになるならば統合の必要はない。 経営内容は、赤字があるとはいえ碧南市のほうが良い。	
委員	賛成だが、碧南市が西尾市の赤字を引き受けることは反対である。両方が上手くいけば良い。	
委員	上手くいくのであれば賛成である。	
委員	特に反対意見は無いのでこれで良い。	

委員	<p>検討する価値はある。</p> <p>圏域でのこのような形の可能性はあるのか。近隣でも、岡崎市での病院統合の件、刈谷の民間病院と高浜市民病院との件、半田市と常滑市との件などがあるが、両方残しつつ経営統合している先進事例はあるのか。</p> <p>また、もう少し広い圏域での可能性はあるのか。</p>
事務局	<p>広い圏域での事例は把握できていないが、全国ではもう少し広い連携の事例もある。</p> <p>前は西尾市からの申出に対し、碧南市内での建設を前提であれば協議・検討したいと回答した。その後、経営統合して両市の病院を残すという新しい提案が出てきた。この提案について、検討していきたいと考えている。検討の中で、民間との連携などが出てきた場合はそのようなことも検討する。</p>
委員	<p>建設はともかく、経営統合について、両市で考えていこうということは西尾市にとってうますぎる話ではないか。経営統合にはあまり賛成できない。</p>
委員	<p>経営統合することで市民病院の赤字は減るのか。</p>
事務局	<p>今から検討を始めていきたい。碧南市が今まで以上の負担にならないようにしていきたい。お互いにメリットがなければ話は進んでいかない。具体的な内容は今後検討していくが、碧南市にメリットが無ければこの協議は続いていかない。</p>
委員	<p>2病院体制で経営統合して上手くいくのか。赤字がなくなるのか。</p> <p>西尾市の赤字を碧南市が負う必要があるのかという気持ちがある。最初に西尾市から突然の発表で碧南市がそれに対する回答を前回出した。碧南市に市民病院を建設するのであればいいですよという回答に対して、2病院でやってくださいというように話が変わってきているが、本当に価値のある話し合いになるのか。</p>
委員	<p>赤字と赤字が経営統合して2つのままプラスになることはない。何を改善するのか見えてこない。</p> <p>患者数が$1+1=2+\alpha$となつてはじめて経営統合の意味がある。</p> <p>2つをそのまま残す経営統合は、どういう合理化をしていくのか。おそらく診療科目を分けて、医師を常駐させることなどだと思うが、例えば、患者さんが碧南市から西尾市に行くことになった場合、西尾市へ行かずに安城更正病院などに行ってしまうのではないか。$1+1=2+\alpha$ではなく、$1+1$が2より減るのではないか。</p> <p>もう1点は、経営合理化のために、2つの病院を残すということだが、この病院自体も10年、15年後には建て替えが必要になる、西尾市でも同じであろう。その時に2つを同じように新設してやっていくということは非常に無駄があり、2つの病院を残したまま成功するということは想像できない。回答案をみると、玉虫色というか都合のいいように解釈ができる。両市民病院を残して検討する、そうすることが市の方針ならば反対である。2つの病院を残した経営統合は将来に禍根を残すことになるのではと感じた。</p>

市長	2つの病院をそのまま残すことを前提にした協議ではない。そういうことが可能かどうかを含めての検討である。碧南市としては、碧南市側に総合病院があるということを前提とした上で今後議論していき、碧南市民や碧南市が不利にならないことが大前提とした協議になる。皆さんに迷惑をかけるような協議の方向には持っていかない。お互いにメリットがあれば妥協する可能性もある。
委員	患者の立場から考えると、今は、地域連携で町医者にかかることが原則である。病気になったときに直接市民病院で診てもらいたいと思ったときに、経営統合しても診てもらえればいいが、お金云々よりも市民病院に行って良かったと思えば経営統合しても良い。
委員	経営統合ではなく、共同購入などで協力しながらやるなど、医療連携は効果がある。 経営統合し、両市民病院を維持し、両市で急性期医療を継続することについては検討を開始したいということは、両市民病院を残してやっていくという理解をするので反対である。
事務局	西尾市からの提案がどういう経営体系か、意見調整を全くしていない。急性期医療を継続するというのも、外来だけなのか、入院だけなのか、病院の規模なども全く白紙の状態である。 具体的に西尾市と2病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続することについて具体的な確認をしていないので、今の段階では検討をさせていただきたいということである。
委員	両市民病院を経営統合し、両市で2病院体制を維持しつつ、ということを継続審議するということか。
事務局	それぞれの市でメリットがあるということならば案を検討していくということである。色々な条件が出てきて、検討を重ねて、碧南市にとってメリットがあるような状況であれば検討を重ねていくが、無理だということになれば協議は終わりになる。
委員	結論を急いではいけないのかもしれないが、検討を重ねていく中でメリットが出てくると考えているのか。
事務局	具体的な検討は行っていないので、メリットが出てくれば協議を進めて行きたいということである。
委員	相手もあることなので、はっきりと駄目なものは駄目と言わずに、途中まで検討して、駄目と言えるのか。やめるならば、事前にいろいろなことを想定して駄目ですよ、うちはやりませんと断ったほうが良いのではないかと。 途中まで検討してメリットが無いのでやめると言うことは、相手に不信感を与えるのではないかと。お互いにやるつもりできていて、メリットが無いのでやめますということは、信義に反しないかと。
市長	少なくとも碧南市側では、経営統合するつもりで協議をするという前提はない。財政負担が軽減することが可能かどうかの検討をして行く。
委員	相手は期待するのではないかと。

委員	今の意図を西尾市側が理解できるのか。回答書の文面を見て、本当の気持ちが相手に伝わるのかは疑問である。西尾市民は碧南市と西尾市の病院が一緒になってやってくれると思っている。
市長	協議の中で常に西尾市へは経営統合が前提ではないことを繰り返し伝えながら協議をして行く。
委員	それでも西尾市は期待すると思う。私が受け取ったならば、いい話ができそうだなと思う。
事務局	西尾市との考え方だが、1回目の回答をしたとおり、碧南市としてメリットが出るかどうか、ということは常に話をしている。西尾市としてもそのように考えている。 西尾市からの申出であるこの提案も、上手くいくという想定で出されたのかどうかという点も少し疑問がある。今から協議をスタートしていくことと考えている。碧南市がこの提案を飲んでくれるという期待は西尾市も思っていない。
委員	市がそう考えているならば、これ以上は言わないが、一般的には期待を持たせる回答だと思う。
市長	政治的なスタンスもある。今日の議論も西尾市に伝わる。この提案をむげに断ることも失礼なので、この件はいろいろなことを研究して、最終的に駄目になることもある。できれば丁寧に検討していきたい。
委員	西尾市は真剣だと思う。いろいろな関係者が議論している。かなり期待を持たせるようなことでもいいのか、西尾市民も期待している。ある人の話では、岡崎市南部に新病院ができるので、西尾市は危機感がある。そのような状況の中で、このような期待を持たせるような、玉虫色のような回答を出していいのかと思っている。市としてはそうではないということならば理解する。
委員	可能かどうか、有益がどうかというも含めて検討するというのであれば、そのような文言を入れてはどうか。
委員	ある程度予想して結論を出すのが、本当のメリットは統合してみないと出てこない。病院の建て替えの問題や財政負担の問題もあるので、碧南市民病院はここでしっかりやっていけば、統合しなくても改善ができていくのではないかと。
委員	市民の立場としては、この提案は乗る話ではない。今でも大変な経営内容で、さらにお荷物を抱えるような結果になった場合に、碧南市民としては困る。経営統合は、両方の支出を抑えることによってさらに内容が良くなるということが本来の姿である。現状維持しておいて、内容を上手くやればいいという少し虫の良すぎる話だと思う。
市長	簡単に結論が出る話ではなく、2、3年かけて協議をして行きたい。全国的な事例も含めていろいろ研究して、コストカットができるならばやってはいけないことではないかもしれない。成功事例があるかどうかとも研究していない、本日も理解いただければ、検討に入りたい。

委員	<p>経営統合と連携は切り離して考えるべきである。</p> <p>経営統合は、公立病院なので、トップは市長である。上手くいかなければ両方の市長が責任を取らなければいけない。マイナス同士で経営統合してプラスに持っていくことは大変である。本当に両方の病院を経営的に統合して黒字化を目指すなら、医療経営に精通した民間へ委託すれば可能である。公立病院のままで経営を統合することは、行政が違うので、財源の負担もあり無理である。今のまま経営統合することは、絶対に上手くいかない、反対である。</p> <p>医療連携は考えて行くべきである。10年、20年先の医療を考えれば、今のままでは成り立っていかない。医療圏の問題、救急医療の問題、救急の管轄の問題つまり衣浦東部と西尾市は別組織で動いている。また、医師会、薬剤師会、歯科医師会の3師会も分かれている。こういったものを広域的に医療連携して、両方の病院にメリットがあるようなあり方をみんなで考えて行くことは重要である。</p>
委員	<p>患者にメリットがあるかどうかということを考えると、経営統合は、ほとんどメリットはない。</p> <p>そもそも碧南市民病院は大丈夫なのかと思っている。その問題がどこかに消えてしまっている。この病院自体のことも考えていかななくてはならない。</p>
委員	<p>個人としての意見だが、30年前の市民病院が無いときと比べて医療サービスが良くなった。市民病院ができてからは、刈谷市や安城市に行かなくてもよくなったという状況がある。特定の診療科を除けばすぐに診てもらえる。</p> <p>赤字と赤字が統合して、西尾の赤字を碧南が引き受けることになるのはどうかという点は皆さんと同じ。今の赤字はそれなりの医療を提供されているので、碧南市は問題ないとは言いきれないが、それなりにやっていたらいい。</p> <p>医師を確保できる病院をつくるのが経営改善にとって重要になる。経営が悪い原因は、医師の確保ができていない点にある。医師が確保できれば病院経営は成り立っていくと思う。経営統合よりは、医師が確保できる病院ができるかどうかということが重要である。</p> <p>この件については、国の医師の偏在対策がどうなるか、今は、走りながら考えているが、経営統合は医師が確保できるかどうか生命線になる。</p> <p>今の碧南市民病院の状態は、赤字はあるものの、開業医にとっては非常にありがたい存在である。早急に答えを出すというよりは、走りながら考える、医師の偏在対策がどうなっていくのかも意識する必要がある。</p>
委員	<p>個人的な意見としては、回答案の文言について言うと、医療連携は大切であり、その中で検討の一つとして開始したいということなので、反対意見は無い。</p>
委員	<p>医療連携については、双方合意ということなので、そのままが良い。</p> <p>経営統合案は、初めは病院を1つにして碧南市に建てるか西尾市に建てるかという案だった。新たな提案である病院を2つ残して経営だけの統合はさらに難問になると思う。西尾市の新たな提案は、検討の余地は無いのではないかと。</p> <p>碧南市民病院単独でも今後赤字をどのように減らしていくのかを検討している段階で、2つの病院を併せてという形が見えてこない。</p>

市長	医療連携の協議は問題ない。その後の経営統合についての表現を少し考える。誤解されないような表現にしたい。
委員	<p>西尾市民病院からの要望・提案を受け入れるように読める。</p> <p>毎年10億円の負担金を支出し、なおかつ赤字であるため、当初は廃止でも良いと考えていた。</p> <p>しかし、病院を何とかしようという皆さんの熱意が伝わってきた。</p> <p>今年から病院の改修も行うなど、一生懸命改善すれば何とかいい方向に向かうのではないかと考えが変わった。</p> <p>経営統合してしまうと、両市の財政負担能力の違いがあるかもしれないが、今まで一生懸命やってきたことが水の泡になることが心配である。</p> <p>経営統合して、それなりのメリットがはっきりとあるから協議を進めて行くということであればいいが、協議しながらメリットが無かったらやめますということは、お互いに話し合いの進め方としては正しいやり方ではないと思う。</p>
事務局	回答については、医療連携を進める中でという表現を、経営改善を図れるようであれば協議を進めていくなど、条件付の回答を検討していく。
市長	<p>西尾市は、今のところ2つの病院を経営統合すれば改善すると考えている。この気持ちを最初から閉ざすことはどうかと思う。協議した結果、駄目だったならば納得してもらえる。現段階では、西尾市は改善できるという希望を持って回答を出してきている。</p> <p>本当に可能かどうかを研究し、可能ではないということになれば、この話は終わりということになる。</p> <p>医療連携は良いが、経営統合は最初からやりませんという回答をするかどうかということである。含みをもたせて研究していくというよう回答にしたい。</p>
委員	相手に失礼のない方向が良い。
市長	皆さんの意見を取り入れた形で見直しを行い、西尾市へ回答する。

以上